



月曜日

8

レムナントの道^{みち}

サタンは、今、この時間、レムナントを無差別攻撃しています。罪に定め、罪悪感、不信仰、にくしみ、ねたみ、しつと、このような考えと心を武器にして、攻撃してきています。問題と事件、困難ですっかり気がぬけるようにさせて、とくに神様がプレゼントでくださった祝福(聖霊の内住、聖霊の導き、祈りの答え、暗やみを縛る、天使の守り、天国の国籍、世界福音化の主演)を根こそぎゆらします。

みなさん、サタンの攻撃に絶対にだまされないでください。聖善の中のレムナント七人のようにです。

ヨセフは、お母さんが弟を産んで死にました。福音を知らない兄たちは、ヨセフを困らせて、奴隷に売ってしまうことさえしました。

モーセ、サムエル、ダビデ、エリシャ、イザヤ、パウロとテモテも、やはり数多くの問題の中で迫害されて、苦しめられました。

しかし、レムナント七人は、神様の約束をにぎりました。彼らは、問題と事件、困難の中で、聖霊の導きを受けながら神様に栄光をささげました。それで、サタンのどんな攻撃にもがっかりして、あきらめることはなかったのです。

レムナントのみなさん、神様はレムナント七人を導かれたように、私たちを導いてくださると約束されました。その約束をにぎって、黙々と聖霊の導きを受けながら進みましょう。今でも神様は、私たちが力を出して行けるように、火の柱、雲の柱でともにおられます。

きょうのみことば

エペソ 6:10-20

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。(8)

多くの方がイエス様を知らずにいろいろな問題で苦しんでいます。このような時代に私をレムナントとして呼んでくださってありがとうございます。今日もすべての困難を信仰でとびこえることができるように、力をあえて導いてください。イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン
* 定刻祈りの点検 : 昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



レムナントのみなさん、モーセについてのお話を知っていますか。それについて英語で見てみましょう。下の例に書かれた単語を見て、絵のよこにあるふきだしに単語を書いてみてください。

★ 例 eyes(は eye), sit, disease, feet(は foot), body



ヒント : eye (目) sit (すわる)、disease(病氣) feet、foot (足) body (からだ)

火曜日

9

きょうのみことば

テモテ 2:1~7

そこで、わが子よ。
キリスト・イエスにある
恵みによって強くなり
なさい。多くの証人の
前で私から聞いたことを、
他の人にも教える力の
ある忠実な人たちに
ゆだねなさい。(1~2)

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

ただキリストの中で

勉強ができる、顔がかわいい、スタイルがすばらしい、そんな友だちを見たら、とてもうらやましいでしょう。なぜ、自分はそうではないのかと悩んだりもしますが、問題が解決されるどころか、次々とわき出てくるように思えて、死にたいという思いになる時があるでしょう。

そのような考えは、サタンがあたえる考え(不信仰)です。絶対にだまされしないでください。神様は、勉強が最高によくできて、顔がとてもかわいくて、背が高くてスマートな子どもをレムナントに呼ばれたのではありません。

神様は、レムナントがキリストの中にある恵みで強くなることを望んでおられます。キリストの中で、すべての問題の答えを見つけて、最高のレベルに育つことを望んでおられます。

レムナントとして呼ばれた私たちは、霊的兵士、霊的選手、霊的農夫です。兵士が戦場で戦うように、私たちはサタンとの競争に出て行って、霊的戦いをします。競技のルールに合うように勝負する選手のように、私たちは最善をつくして霊的競技に臨みます。一年中、汗をぶるぶるかきながら農作業をする農夫のように、霊的農作業をします。

神様は私たちに約束してくださいました。苦勞した農夫が、穀物を先に受けるのにふさわしいように、私たちにまず最初に祝福をくださいます。それで、私たちはただ福音だけをにぎればよいのです。

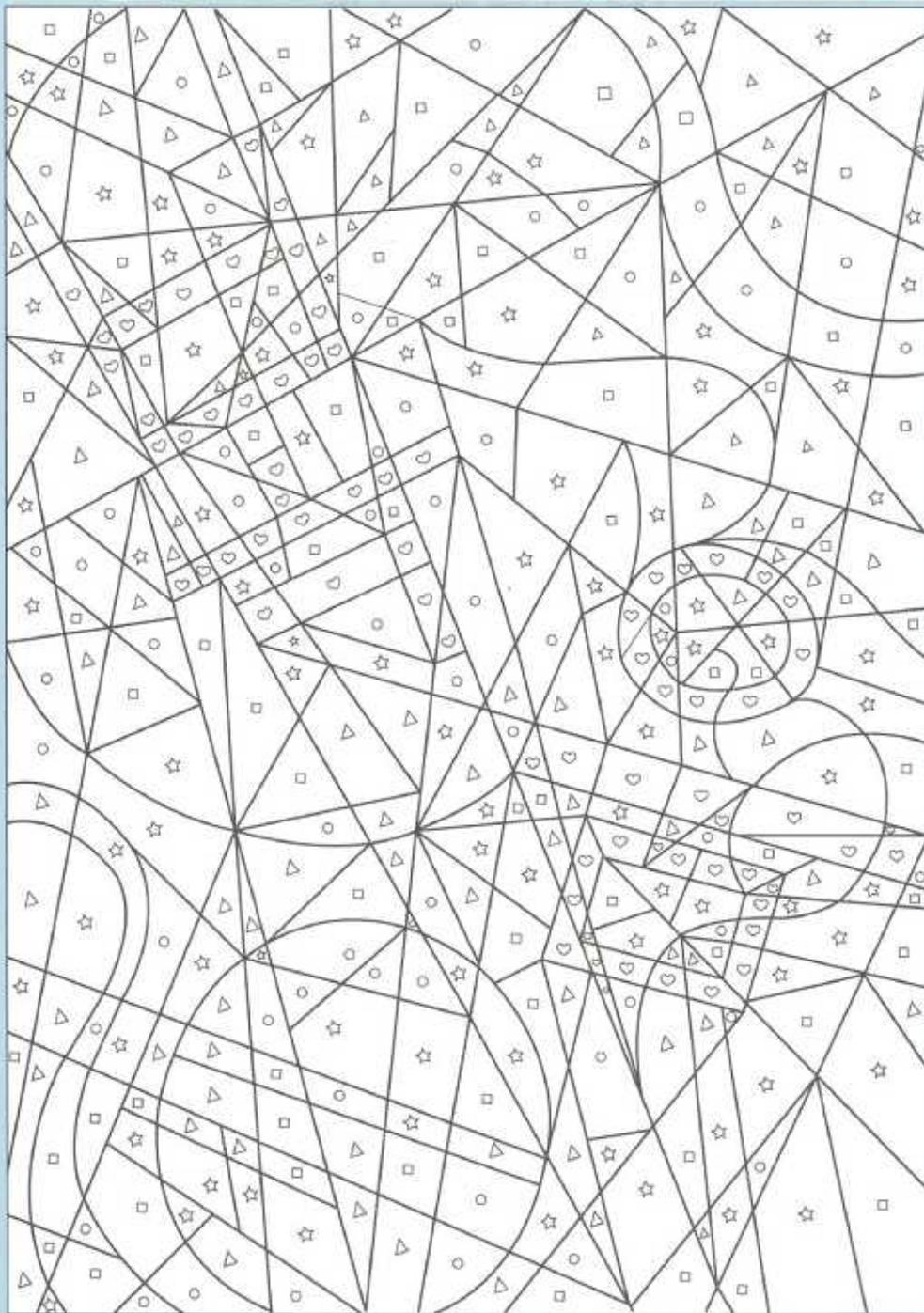
神様、キリストの中にある恵みによって強くなることができるように信仰をあたえてくださってありがとうございます。今日も聖霊に満たされて、知恵をあたえてくださり、福音と伝道と勉強の中で、感謝を味わわせてください。イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン

※ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



ハングル
もじ
文字

下の絵の をぬりつぶすと、ハングルの文字が出てきます。
福音」ということばです。おぼえてね





水曜日

10

きょうのみことば

ピリピ 3:4-9

けれども、私の主である
 キリスト・イエスを
 知っていることの
 すばらしさのゆえに、
 いっさいのことを損と
 思っています。私は
 キリストのために
 すべてのものを捨てて、
 それらをちりあくと
 思っています。それは、
 私には、キリストを得、
 (8)

福音を持った文化人

文化人とは、他の人がついてくることができないほど、最高の
 実力をそろえた人のことを言います。それで、多くの人が
 専門家になるために熱心に訓練して、練習して、勉強します。
 しかし、とにかくがんばったら、専門家になるのではありませ
 せん。そのことを本当に愛さなければなりません。神様がくださ
 ったタラントを楽しみながら、喜びで一生涯、みがきあげればよ
 い結果を得られます。

ところで、文化・スポーツのある一分野に集中するならば、他の
 人が知らない霊的な困難を経験することがあります。普通の
 人々が簡単にできることが、不思議に上手にできません。

また、ずっと努力をしているから、一つの機能には最高になれ
 るのですが、反対にその過程を満足することができなくて、自
 分で気をおとしたり、うつ病を体験したりもします。創意的に
 作っていかなければならないという負担で、自殺をしたり、墮落
 する人もいます。

レムナントのみなさん、芸能人・芸術家・スポーツ選手を夢見て
 いますか。なによりも先に、正確な福音を悟って聖霊に満たさ
 れなければなりません。それでこそ、霊的問題に勝つ力を受け
 ることができます。そして、霊的問題に苦しめられる文化・ス
 ポーツの人々を手助けする証人になるのです。

この世の文化の中で福音を持って生きて行くレムナントにならせてくださって感謝します。文化を
 リードする最高の専門性と聖霊の満たしをくださって、多くの福音を持った文化・スポーツをする人
 のモデルとなるように導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



神様の ごじまん ヨブ

「ああ、ご主人さま!

カルデヤ人の強盗が3組もやってきて、ラクダをすべてうばい、しもべは剣で切り殺しました。ただ私だけが、生きてご主人に…」
「ご主人さま!」

今回も、話が終わる前に、他の使いがヨブのところに来て話しました。

「一番上の坊ちゃんの家で食事をされていた、お坊ちゃんとお嬢さんが、荒野から突然吹いてきた強風で家が崩れ落ちてみんな死んでしまいました!」

ヨブは服をさき、頭をそり、地にひれふして、神様を礼拝しました。

「私は母の胎から裸で出てきた。また、裸でかしこに帰ろう! 主は写え、主は取られる。主の御名はほむべきかな!」

17日に続きます



ウツの地にヨブという人がいました。ヨブは、潔白で、正直で、神様をおそれて悪をきらう人でした。彼には七人の息子と三人の娘がありました。彼は半7牛匹とラクダ3千匹、牛5百くびきと、雌ロバ5百匹を持っていて、数多くのしもべを持っていた東方一番の金持ちでした。





ある日、サタンが主の前に立ちました。主がおっしゃいました。

「どこからきたのか」

「世の中のあちこちをずっと回って見てきました」

「それでは、おまえはわたしのしもべヨアを見ただろう」

ヨアのようによびで、正置で、神様をおそれ、悪を

きらう人は世の中のどこにもいないだろう」

「ヨアがなんの理由もなく、そのようにしていると思われぬのですか。主がヨアとその家族と財産をいつも守っておられるからです。すべて取って、うばってみてください。主に向かってのろいでしょう」

ヨアを誇りたいと思われた主は、サタンの話に自信をもっておっしゃいました。

「わかった！ 彼が持っているすべてのものを、おまえの思いどおりに試してみる。ただし、彼のからだには手をつけてはならない」
サタンは主のことは終わるとすぐに、ヨアを試みるために出ていきました。



ヨアは、ゆっくりと歩きながら、自分を家の回りを見ていました。「私は本当に華せな者だ。主がこのように私を鹽かにしてくださいとは…」

その時でした。使いが走ってヨアののこりに来て言いました。

「ご主人さま、シェバ人がおそってきて、牛とロバをうばっていった、しもべをみな殺しました。私だけがなんとかこのように逃げてきました…」

「ご主人さま」

使いが話を終わらないうちに、他のしもべが足の下にひざまずいて泣きながら話しました。

「天から神の火がくだって、羊の群れとしもべたちをみんな焼いてしまいました。私だけが、かろうじて逃げて、このように…」

また彼の話がまだ終わる前に、他の使いが息をきらして飛んできてヨアに言いました。



木曜日

11

きょうのみことば

創 37:1~11

兄たちは彼をねたんだが、父はこのことを心に留めていた。(11)

かてい もんだい 家庭の問題を土台にしましょう

レムナントのみなさん、両親がよくけんかをしますか。おつかいがいやで、弟や妹がきらいでけんかをしませんか。文句だけ言うパパやママと対話したくないでしょうか。

レムナントのすべての問題をイエス様がすでに解決されました。ですから、家庭の問題を見てたまされてはなりません。むしろ問題をよく見れば、学ばなければならない、よい内容を見つけることができます。

さあ、これから家庭の中の大きくても、小さくても問題を不平不満にせず、福音のなかで祝福にしてみましょう。そのような力がないですか。神様にすべての問題を祝福にできるように霊的な力を求めて祈ればよいのです。

そして、私たちの家庭に問題がこなければならぬ理由を一度考えてみてください。そうすれば、家族を心に抱いて祈ることができず。

レムナントのみなさん、聖書の中のレムナントは、問題の中でいつも神様の計画を見つけました。それで、問題を祝福の機会にしました。

問題の中には私が悟らなければならない祈りの課題がかならず隠されています。私の祈りの課題が神様の願いと通じるなら、どんな問題があっても挑戦する力が生まれます。みなさん、神様があたえられる霊的な力で問題を祝福の土台にしましょう。

私の家の問題を見て、祈りの課題をにぎらせてくださる神様に感謝します。問題にだまされしないで、信仰で挑戦することができるように霊的な力をください。イエス・キリストの中ですべての問題は成功の土台になることを体験させてください。イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン

✻ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう





金曜日

12

福音を体験してみましたか

イエス様は天にのぼりながら、初代教会の信徒になにも心配せずに、信仰で祈りながら聖霊様を待ちなさいとおっしゃいました。聖霊の力を受ければ、地のはてまで大胆な証人になるからです。しかし、初代教会の信徒は、イエス様を信じるという理由で、とても大きな困難を経験しました。火に焼かれて殺されたり、ライオンに食べられて殺されたりもしました。それで、ある人々は、イエス様を信じるのをやめました。しかし、信仰の人々は、ヨブのように最後まで忍耐しながら信仰を守りました。それがまさに福音の力なのです。それで、福音を持った人は大胆であったりします。

きょうのみことば

使徒 12:1 ~ 25

こうしてペテロは牢に閉じ込められていた。教会は彼のために、神に熱心に祈り続けていた。(5)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

レムナントのみなさん、困難と問題に会ったのですか。恐れないでください。福音のために受ける困難、問題、苦しみは、結局、みな祝福になります。ステパノ執事が石に打たれて殉教した問題が、かえって伝道と宣教をリードするアンテオケ教会をたてるきっかけになったようにです。

気をおとさずに、挑戦してみましょう。挑戦するほどの知恵がないですか。ヤコブの手紙1章5節を見れば「あなたがたの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は、だれにでも惜しげなく、とがめることなくお与えになる神に願いなさい。そうすればきっと与えられます」とおっしゃられました。このみことばをにぎって、今日から知恵を求めて祈ってみましょう。

神様、どんな問題の前でも大胆になれるように力をくださって、ありがとうございます。むずかしいことに出会っても、あきらめないで、挑戦して、答えを受けるかっこいいレムナントになるように恵みをください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

✪ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう





かみさまのみことば



神様のみことばには、すべてがはいっている
神様のみことばをにぎって生きて行きたい
神様のみことばを^{とほ}して^{わたし}がなしとげることができることを
みことば^{とほ}してなしとげたい。
神様のみことばの中で、どんなことにも勝てる
全身の^{ぜんしん}武具^{ぶぐ}をつけて、神様のみことばに^{したが}従おう
そうすれば、^{しょうり}勝利するよ。

文章_ウ・ソンハ (イエスマウル教会 6年)



13日(土)

今日の

うんせい
運勢を

教えて!



英語塾に行ったりオは、同じクラスの友だちが文房具の店の前に集まっているのを見た。

「なにをしているの」

リオがたずねたら、ヒナが答えた。

「このシャーペン、今日の運勢が見られるの。私は今日は勉強運がないって」

そばに立っていたチエは「わあ!私は今日、金運があるって。今日、ママにおこずかいをもらったけど、これがそうなんだ!」と言った。

「変だなあ。チエは教会に通っているのに・・・」

リオは、チエを見ながら首をかしげた。

「チエ、はやく英語の塾に行こう。時間になっちゃうよ」

チエは、残念そうに、塾に足の方を変えた。

リオは、しばらくして用心深くたずねた。

「チエ、あなた神様の子どもでしょう」

「当然、神様の子どもよ。急に、そんなことをどうしてたずねるの」



◆ 定刻祈りの点検 :

昼 12 時

教会のために祈りましょう。

夜 9 時

RUTCのために祈りましょう

「さっき、今日の運勢を見ながら、あたったと喜んでいたら・・・」

「ああ、それはおもしろいから言っているの。それが、神様の子どもと
なんの関係があるの！」

「チエ、神様の子どもは、すでに運命から解放されたの。神様は
私たちを子どもとされたでしょう。その事実を信じて祈れば、神様が
いちばん良いことに導いてくださる。それをあなたが忘れていたから・・・」
チエの顔が、突然、赤くなったり、青くなったりした。

リオは、自分がなにか間違ったことをしたかと思って、そわそわした。

しばらく、言葉なしに歩いていたチエは、塾の前に到着して、いよいよ口を開いた。

「リオ、はじめにあなたがそんなことを言うから、気分が悪かったけれど
じっくり考えてみたら、あなたの話が正しいみたい。私が今日の運勢に
少しの間だまされたみたい。忠告ありがとう」

リオは、その時、はじめて安心して話した。

「友だち同士だから、当然でしょう」

「うん。はやく行こう。授業におくれるわ」

「そうね！」

リオは、チエと腕組みをして、いっしょに走り出した。

